

「やおうえるかむコモンズ」を形成するために

推進体制の
整備

情報基盤の
整備

コーディネーターの
活動支援

交流の場を設置する

芸術文化に関する活動場所や活動団体が交流し、情報交換に取り組む。

連携の機会を提供する

類似の事業・イベント等について、相互に連携し、合同開催等を検討する。

情報共有の仕組みを構築する

芸術文化に関する活動場所や活動団体等の情報を収集・共有し、相互連携を図る。

「コモンズ」形成主体*を拡充する

「コモンズ」形成主体*である活動団体や活動場所を相互支援しながら増やしていく。

「やおうえるかむコモンズ」の形成によってできること

【これまで芸術文化に関心がなかった市民にとって】

- 身近な場所で芸術文化に触れることができる
- 芸術文化に興味を抱くことで創作活動を始めるきっかけとなる

【子どもにとって】

- 身近な場所で芸術文化に触れることができる
- 自分では気づけなかった才能を発見できる
- 豊かな心を育むことができる

【「コモンズ」の形成主体にとって】

- 新たな施設の利用者、イベント・講座の参加者等を獲得できる
- それぞれの形成主体の活動の幅が広がり活性化される
- 「コモンズ」の他の形成主体との連携によりイベント等の規模を拡大できる

【創作活動を行っている市民や団体にとって】

- 自身の活動を披露する場の選択肢が増える
- 他の活動者との交流を深めることができる
- 自身の活動をレベルアップする場（教室・講座等）の情報を得ることができる
- 他団体との合同発表等により活動の規模を大きくすることができる

【市全体にとって】

- 事業者の製品に障がい者や子どもなどによるデザインを活かすことで、双方にとってプラスの効果をもたらすなど、芸術文化と他分野との連携による相互作用が期待できる
- 八尾の伝統的な芸術文化を活かしたイベント開催や製品化により、八尾の魅力を発信していくことができる
- 高齢者や障がい者、子ども、ひとり親家庭、在住外国人などが芸術文化を通じて社会とつながり、様々な人々が共生する社会が実現されていく